



夏の思い出、最高の一日に！



暑さも吹き飛ばすほどの子どもたちの笑顔と歓声に包まれた、思い出深い夏休みを過ごしてきましたが、「最高の夏はまだまだ終わらせない！」とばかりに、今年も様々な趣向を凝らした、夏休みの締めにふさわしい夏祭りの様子を紹介したいと思います。



会場には夏祭りらしい飾り付けが並び、浴衣を着てくれた児童もいるなど、いつもの雰囲気とは違う特別な一日。

子どもたちは来所した時から、「今日のお昼ご飯は何か？」「早く始まらないかな！」「そんな期待に満ちた表情で目を輝かせながら、これから始まるイベントへの期待を膨らませていました。

一つの事業所ではただ出し物を楽しむだけでなく、子どもたちが「自分で挑戦する」「自分でイメージを最大限膨らませる」「みんなで思い出や成長を振り返る」、この三つのテーマをもとに、「射的」「風鈴づくり」「夏の思い出や成長を振り返るスライドショー」

「おやつ掴み取り大会」などの活動を準備しました。まずみんな最初に挑戦したのは、夏祭りの定番でもある射的でした！

目の前に並んだ的を見ながら「どれを狙おうかな」「これに決めた！」とじっくり考える子どもたち。狙いを定め、集中して銃を構える姿は真剣そのものです。

思うように当たらず悔しそうにする様子している姿もありましたが、諦めずにそこから何度も挑戦する姿も見え、遊びの中にも大切な経験がたくさん詰まっていることを感じました。



おやつつの時間には、先日実行した「日帰り旅行の思い出」と「みんなの成長記録」と題した映像をスライドで披露しました。

事前に夏祭りに参加する児童の保護者より、出生された日、幼い日の様子を記録した写真を数枚頂戴し、事業所での様子を収めた写真と併せて編集した

2026年8月

動画を作成し皆に視聴してもらいました。

普段接しているお友達の赤ちゃんの時の写真が映し出されると「可愛い」と歓声があがり、当の本人は少し（だいぶ？）照れた様子で顔を隠したりしていましたが、嬉しい気持ちは隠しきれいていませんでした。

日帰り旅行のスライドは映像が変わるたびに、「この乗り物のった！」「この日めっちゃ楽しかった！」とたくさんの声が飛び交っていました。

「楽しかった瞬間」「頑張った瞬間」「お友だちと笑いあった瞬間」一枚の写真をみるだけで、その日の出来事が鮮明によみがえり、思い出に浸りながらスライドショーを終えました。



この夏お友だちと一緒に過ごした時間は、きっとこれから先も心のどこかに残る大切な思い出になってくれる、そう感じた一日となりました。